

新年のごあいさつ



下野市議会議長

橋本武夫

地方分権・地方主権が進められる中、地方自治体は、自己決定・自己責任において自治体を経営していかねばなりませんので、議会の果たす役割はますます重要となり、行政に対する議決、チェック機能として監視・評価機能を十分発揮するとともに、独自の政策立案機能も果たし、市民の皆さまの付託に応えなければならぬと考えております。

地方分権・地方主権が進められる中、地方自治体は、自己決定・自己責任において自治体を経営していかねばなりませんので、議会の果たす役割はますます重要となり、行政に対する議決、チェック機能として監視・評価機能を十分発揮するとともに、独自の政策立案機能も果たし、市民の皆さまの付託に応えなければならぬと考えております。

地方分権・地方主権が進められる中、地方自治体は、自己決定・自己責任において自治体を経営していかねばなりませんので、議会の果たす役割はますます重要となり、行政に対する議決、チェック機能として監視・評価機能を十分発揮するとともに、独自の政策立案機能も果たし、市民の皆さまの付託に応えなければならぬと考えております。

地方分権・地方主権が進められる中、地方自治体は、自己決定・自己責任において自治体を経営していかねばなりませんので、議会の果たす役割はますます重要となり、行政に対する議決、チェック機能として監視・評価機能を十分発揮するとともに、独自の政策立案機能も果たし、市民の皆さまの付託に応えなければならぬと考えております。



下野市長 広瀬寿雄

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、「ご家族おそろいで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は、市政をお預かりして4年目を迎えました。就任以来、市民の皆さまが、「本当に住んで良かった」、そして「住んでいることを誇りに思える」と言えるような下野市のまちづくりを目指し、様々な施策に取り組んで参りましたが、まだ、道半ばであると考えております。

行政運営としては課題も少なくありませんが、職員と一丸となって邁進する所存でございますので、引き続き、「ご理解、ご協力をお願いいたします。

さて、昨年の市政を振り返ってみますと、急激な景気・雇用情勢の悪化や新型インフルエンザの世界的流行等に対処するため、さまざまな対策に取り組んできた1年間でありました。

そのような中であって、子育てしやすい環境の整備を目的として、中学校3年生までの子ども医療費助成制度の拡大や小学校の耐震化、国際交流を続けてきたドイツの「ドイツ・ヘルツォーグ・ヘルツォーグ」との姉妹都市提携など、大きな成果を得られたと考えております。

本年は、市政運営の指針であり3年目となる「下野市総合計画」の目標達成に向け、計画の着実な推進に

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととおよろこび申し上げます。

昨年中は、市政の進展並びに市議会の活動に対し、皆さまの深いご理解とご協力を賜り、円滑な議会運営ができましたことを心から厚くお礼申し上げます。

我が国の経済は、アメリカの金融危機を契機に世界的な景気後退によりまして、国内需要も停滞し、景気・雇用情勢は依然として厳しい状況が続いており、市民生活や地方自治体にも大きな影響を与えております。

こうした中、本市においては、行政改革大綱による下野市集中改革プランを着実に実行し、行政評価による事務事業の見直しと経営改善に積極的に取り組みなから、本市の基本となる「下野市総合計画」を策定し、思いやりと交流のまち下野市の実現に向け、教育、福祉、情報化の充実、生活、都市環境の整備等各種の事業を推進しております。

全力をあげるとともに、市の将来像「思いやりと交流で創る新生文化都市」の実現に向けて、基本構想に基づいたまちづくりを進めてまいります。

まず、市の知名度アップや産業振興等を目的として建設を進めております「(仮称)道の駅 しもつけ」を、2011年4月のオープンに向けて、ハード、ソフトの両面から整備を進め、併せて、地域の特産品や文化遺産等を活用した「下野ブランド」の掘り起こしにも取り組んでまいりたいと考えております。

また、合併当初より懸案となっておりました新庁舎建設につきましても、建設委員会からの答申により、一定の方向性が見出されました。

今後は、「市民の拠所」となる新庁舎の建設に向けて、議会とも協議を重ねながら慎重に検討してまいりたいと考えております。

財政面では、現下の厳しい社会経済状況を踏まえ、限られた財源の中で最大の効果を生み出すための創意工夫とコスト意識の醸成に努め、経費の節減や業務の見直しなどによる市債残高の着実な減少を図るなど、市民の目線に立ったわかりやすく且つ、スピード感のある市政運営に努めてまいります。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

さて、市議会ではさらなる議会活性化に向け、議会活性化特別委員会を設置して協議し、議員定数を、これまでの24名から3名削減した21名とする市議会議員定数条例を定めました。

さらに、議案審議等を、専門的に各常任委員会で詳細に審査できるよう、本会議方式から委員会方式にすることを決定し、12月定例会から試行的に導入しております。

また、下野市庁舎建設委員会から答申されました「下野市庁舎建設基本構想」について、議会として協議するため、下野市庁舎建設特別委員会を設置して、2月中を目途に、慎重に協議検討を重ねてまいります。

議会としては、今後とも、市民の皆さまの議会として、常に住民の声に耳を傾けながら、議会の果たす役割を自覚し、創意工夫を重ねながら、安全安心なまちづくりを目指して最善の努力をしてまいり所存でありますので、皆さまのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さま方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。